

あいな里山公園情報

～国営明石海峡公園神戸地区だより～

トピックス

- 棚田ゾーンがさらに変わります
- 藍那山荘改装進捗状況
- あいな里山公園PR活動
- あいな写真館
- お知らせ
- 淡路島国営明石海峡公園から

初秋のあいさつ

夏から秋にかけて、徐々に日が短くなり、聞こえてくる虫の音も、少しずつ変わっていています。

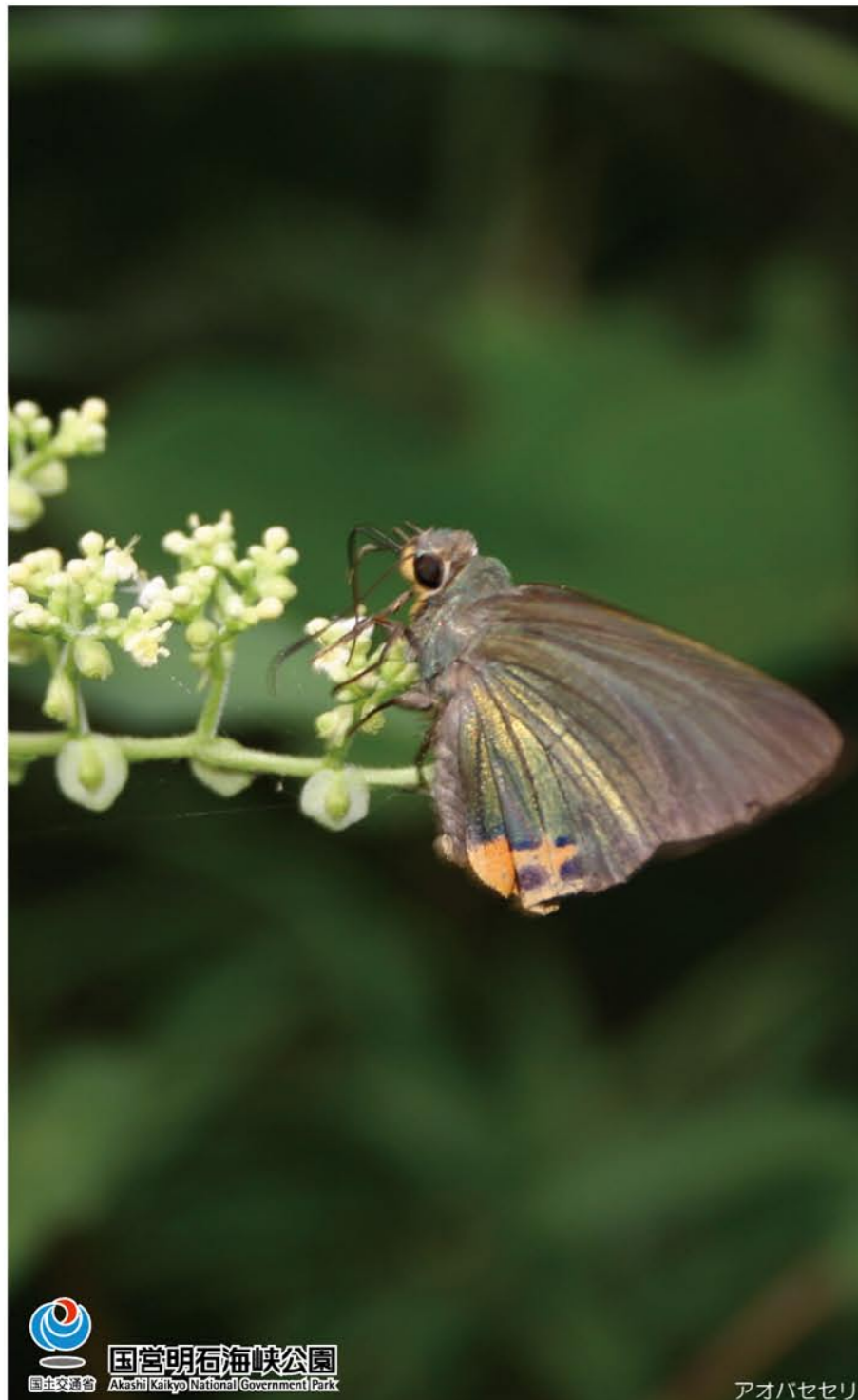
虫の音や星空、葉の色に風の向き。ふと気になりだすと、日々環境が変化しているのが良く分かります。そして、この変化に気づくと、おのずと自然の大切さを痛感するようになってきます。

でも、一番身近に自然を感じる事と言えば、食欲の秋と呼ばれるこの時期、何といっても味覚ではないでしょうか。旬が分からなくなったといわれる昨今ですが、秋の味覚だけは特別なかもしれませんね。

製作・発行

国営明石海峡公園事務所 神戸地区現場事務所
〒651-1104 神戸市北区山田町藍那字伝庫14
TEL(078)593-3943 FAX(078)593-3944
kobe@kokueiakashi.go.jp
http://www.kokueiakashi.go.jp

アオバセセリ



「あいな耕作くらぶ」が育てている蕎麦畑 (9月22日撮影)



9月10日「あいな炭焼くらぶ」による炭焼き窯の修復作業



神戸地区から淡路島を望む(9月14日撮影)



9月10日「わかば会」環境ボランティアによる座談会



9月23日「神戸市北区おやこコムづくり道場」による稲刈りのようす



9月16日 NPO法人「自然と友達になろう」フィールド講座

おしらせ
あいな茶屋
スローフードを学ぼう
「葉とうがらしの佃煮」と食事会

【日時】 10月13日(金)
午前10時から

【場所】 相談が辻の家

【参加費】 2000円(食事のみ・1000円)

【定員】 20名

【主催】 あいな茶屋(申込・中西)

次の発行は11月上旬頃の予定です

淡路花祭2006秋

平成18年9月16日(土)～10月22日(日)
10月7日(土)8日(日)は入園料無料!

駐車料金は必要となりますが17:00以降は淡路口駐車場が無料になります。

- 淡路島国営明石海峡公園では、「淡路の秋まつり」をはじめ、期間中は土日祝日を中心に、イベント盛りだくさんで皆さんをお迎えいたします。
- 軽スポーツチャレンジ
フリスビーや巨大ボール、ストラックアウトなどを無料貸出しします。
- 秋の公園ガイド
「海峡フレンズ」による公園のみどころ案内をいたします。
- 秋のミニ園芸体験
季節の草花の寄せ植え体験。
- 歌のお姉さんファミリーコンサート
吉田仁美ちゃんによる歌ありダンスありの楽しいコンサート。



● 淡路の秋まつり
ステージイベントに夜店、弘前ねぶたに阿波踊り、秋田なまはげ。8日には約1000発の花火。

※開催日や内容をお確かめの上お出かけ下さい。

淡路島国営明石海峡公園から

造成工事・プログラム準備棟
アクションリサーチ

棚田ゾーンがさらに変わります



棚田ゾーン造成予定地

アクションリサーチ

昨年より検討を重ねて、既にコーディネートも選出されていたアクションリサーチ、(以下AR)が、この秋、本格稼働を始めます。場所は、ARエリアの第一参画区、棚田とその東側部分です。

今年度の目標は棚田景観とモデル樹林の整備。藍那駅方面からの入り口にあたる森を、美しい森へと整備していく計画です。作業はコーディネーターと参画団体が連携して、実



稲

施していく事になります。

ARのこれからの動きは、里山情報でも取り上げていきますが、細かい情報や広報に関しては、コーディネーターが行っていくのでそちらの情報もご期待下さい。

工事も本格化

この秋、棚田ゾーンでは造成工事と茅葺き民家の内外装工事、プログラム準備棟の建築が行われます。

すでに、予定地では除草作業が終わっており、順に工事が開始されます。

造成が行われる棚田の東側は、何年もの間高いササに覆われて、外からはその地形すら分からないような状態でした。現在、除草が済んだ

状態は、すごくさっぱりとして、風の通りも良くなったような感じ、霧囲気も違って見えます。

秋になって、幾つもの工事が同時に進行していく事になりますので、里山の音や景色を楽しむには物足りなく感じるかもしれませんが、開園に向けた工事へのご理解を、よろしくお願いします。

残念なはない

稲穂や木々の色も、すっかり秋めいてきた



きのこ

彼岸花



藍那の里山ですが、棚田で風に揺られるはずの稲穂が、日々猪に食べられ壊滅的な状態になってしまいました。

ネットを張ったり、髪の毛を置き、人の匂いを残したりと、様々な工夫をされていたのですが、前日までそこに稲穂があったことが信じられないくらい、倒された稲だけの田んぼになってしまいました。

自然と人が共生していく事の難しさを、まざまざと思い知らされる光景です。

藍那山荘 改装 進捗情報

現場事務所として使用している藍那山荘。入口の門や蔵の改修工事も終了し、綺麗にな

っております。蔵はあいな資料館として、昔の農具や、古い家具などを展示していく予定です。工事中は、入りづらくご迷惑をお掛けしたかと思いますが、今は工事用の足場も外され、庭も通りやすくなっております。

藍那山荘では、入口に畑を作り、交流民家の



改修を終えた藍那山荘

に先駆けて、農家の庭の雰囲気演出しようと考えています。水も



第3回押部谷明石川まつりにて
神戸地区内を流れる木見川(こみみがわ)と藍那の集落を流れる木津川(きづがわ)。こ

あいな 里山公園 PR活動

雨水を使用するなどの工夫をしておりますので、一度覗きに来て下さい。

の2本の川が合流して明石川となります。その縁もあって、押部谷の住吉神社において9月2日(土)に開催された「第3回押部谷明石川まつり」に出展参加させて頂きました。

明石川流域に暮らす方に、上流で公園づくりが行われている事、そして、どんな公園を目指しているのかを、知っていたり、知っていただくために今年建築した茅葺き屋根の材料である、茅を持つて参加しました。お祭り自体は、川原と神社を中心にかんりの人手。9月とは言いまだまだ暑いので、川に入って、うなぎのつかみ取りなど、子どもはびしょ濡れになって楽しんでいました。肝心の公園の広報活動ですが、立てられたう(茅を束にしたも



第3回押部谷明石川まつりのようす

開園までは、まだ年月を要しますが、少しずつ認知されていくように広報もしていきたいと思えます。